

平成 16 年度消防庁補正予算（案）

総額 53.3 億円
(NTT - B 償還時補助金を含む。)

- (1) 消防水利の復旧と耐震化の推進 7.6 億円
 - ・新潟県中越地震により被災し防火水槽が使用不能となった地域などにおいて耐震性貯水槽を緊急に整備。
- (2) 緊急消防援助隊関係設備の緊急整備 17.2 億円
 - ・大規模地震等の発生時において、迅速かつ効果的な消火・救助活動を行うために必要な救助消防ヘリコプター、救助工作車、高度探査装置(シリウス等)等の緊急消防援助隊用設備を緊急に整備。
- (3) 被災地の県内応援に係る常備消防分 1.2 億円
 - ・新潟県中越地震等の被災地域において、迅速かつ効果的な消火・救助活動を行うために必要な高規格救急自動車や救助資機材等の県内応援部隊用設備を緊急に整備。
- (4) 災害時における住民避難等のためのデジタル防災行政無線の緊急整備 6.7 億円
 - ・新潟県中越地震等の被災地域において、デジタル防災無線を緊急に整備。
- (5) 地区における迅速な災害対応のための消防団活動用資機材の緊急整備 2.6 億円
 - ・新潟県中越地震等の被災地域において、孤立地域との通信手段確保のための衛星携帯電話や救助資機材など、消防団の初動対応に必要な設備を緊急に整備。
- (6) 東京都三宅村における村民帰島時の安全対策 1.1 億円
 - ・三宅村への村民の帰島の開始にあたって、火山ガスの高感受性を有する世帯への小型脱硫装置の整備。
- (7) ヘリテレ受信装置の緊急整備 0.8 億円
 - ・大規模災害時等において、映像情報により被害状況を早期に把握し、国として迅速な災害対応を可能とするため、ヘリコプターテレビ電送システムを地震、台風、豪雨水害の被災地に緊急整備。

- (8) 消防庁ヘリコプター導入 6.0 億円
 [所要額 11.0 億円のうち 5.0 億円は
 国庫債務負担行為を設定]
- ・大規模災害時において消防庁の情報収集や先遣隊派遣等の初動対応を迅速かつ的確に行うため、消防庁ヘリコプターを導入。
- (9) 同時複数災害に対応した消防防災・
 危機管理センターの整備 0.3 億円
- ・台風、地震など複数の大規模災害が同時期に発生した場合にも、円滑に広域的な応援の実施が可能となるよう、消防庁に設置されている消防防災・危機管理センターの設備を改修。
- (10) 衛星車載局車の第 2 世代化 1.2 億円
- ・大規模災害時等における現地災害対策本部の機動的な対応のため、被災地の鮮明な映像の送信や I P データ通信を活用した防災情報システムの活用等を可能とするため、衛星車載局車を改修。
- (11) 消防庁支援車の整備 0.2 億円
- ・緊急消防援助隊が出動した場合に設置される緊急消防援助隊調整本部の機動力の強化のため、消防庁職員の被災地での部隊調整等のための指揮車、要員搬送のための人員搬送車を整備。
- (12) 消防研究所電源装置の復旧 0.5 億円
- ・台風 22 号、23 号の大雨による被水で毀損した消防研究所の主受変電設備の復旧等。
- (13) 改革推進公共投資特別措置の繰り上げ償還 7.7 億円
 [地方公共団体及び独立行政法人消防研究所に対して行った施設整備資金貸付金の償還時における補助]